

かがくで、
かがやく。

第155期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

Topics

ESG指数
「FTSE Blossom Japan Index」
の構成銘柄に選定

本社オフィスの移転



株主の皆様には格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
第155期の中間報告書をお届けするにあたり、
一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 **阿賀英司**



2023年度上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い停滞していた経済活動の持ち直しの動きが見られたものの、原燃料価格の高止まりや、世界的な金融引き締めに伴う景気の下振れ懸念などにより、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、長期経営ビジョン（2021年3月期～2030年3月期）および新中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）を推進し、企業価値の向上に向けた諸施策に全力で取り組んでおります。

当上半期は、原燃料価格の大幅な上昇を踏まえて、販売価格の改定を実施したものの、ケミカルマテリアルやアグリビジネスなどにおいて販売が減少したことにより、売上高は689億2百万円（前年同期比14.7%減）、営業利益は64億5千8百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

経常利益は、持分法による投資利益が減少したことなどにより、92億9千2百万円（前年同期比33.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資

有価証券売却益を計上したことなどにより、75億4千万円（前年同期比15.2%減）となりました。

中間配当につきましては、当初の予定通り1株当たり120円とさせていただきます。

通期の業績見通しにつきましては、本年11月8日に公表した通り、世界的な景気減速の影響により、ケミカルマテリアルにおける販売が想定を下回る見込みであること、また、アグリビジネスにおいて一部の地域で流通在庫が増加しており、在庫の適正化を図るために販売の減少を見込んでいることなどにより、売上高および営業利益は当初予想を下回る見込みです。その一方で、持分法適用関連会社において一過性要因（税還付認識）を計上する見込みであること、また、為替が想定よりも円安で推移し、為替差益を計上したことなどにより、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を上回ることを見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2023年12月



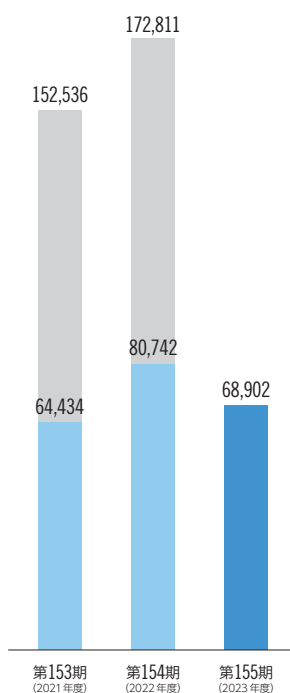
Financial Highlights

科目	第153期		第154期		第155期 当中間期
	中間	通期	中間	通期	
売上高 (百万円)	64,434	152,536	80,742	172,811	68,902
営業利益 (百万円)	3,488	11,930	8,975	16,893	6,458
経常利益 (百万円)	4,975	16,512	13,973	26,456	9,292
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (百万円)	3,145	12,683	8,889	16,692	7,540
総資産 (百万円)	227,044	245,585	252,190	251,350	263,222
純資産 (百万円)	150,857	158,298	167,972	170,959	182,219
自己資本比率 (%)	64.9	63.5	65.6	67.3	68.6
1株当たり 中間(当期)純利益 (円)	112.49	454.39	318.94	598.78	270.40

売上高



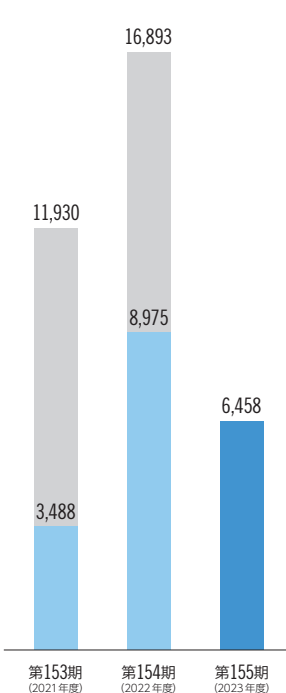
■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円



営業利益



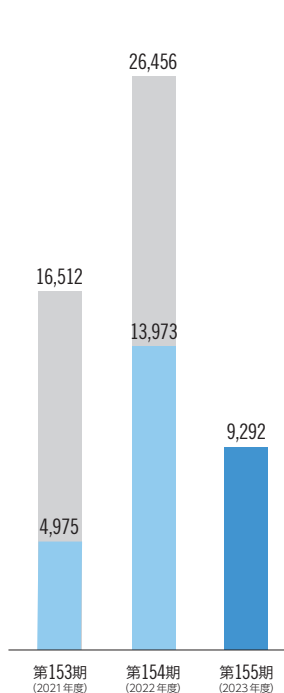
■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円



経常利益



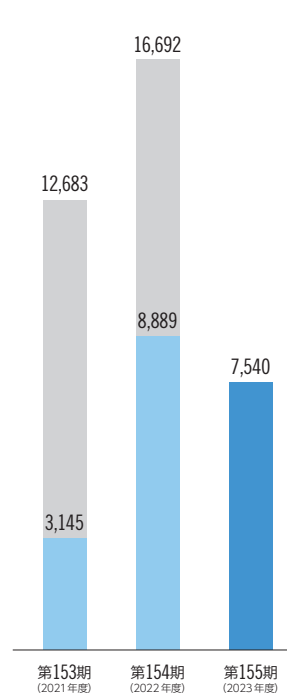
■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益



■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円





Segment Overview

ケミカルマテリアル

連結子会社であったAlkaline S.A.S.が全株式の譲渡に伴い連結除外となったことにより、売上高が減少しました。また、原燃料価格の大幅な上昇に伴う販売価格の改定を前年度より継続して実施しました。

この結果、当上半期の売上高は174億6千2百万円（前年同期比27.1%減）、営業利益は23億2千4百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

工業薬品は、青化ソーダやカセイソーダが増加したものの、構造改革の実施によりカセイカリや炭酸カリなどの販売を終了したこと、また塩化燐が減少したことなどにより、減収となりました。

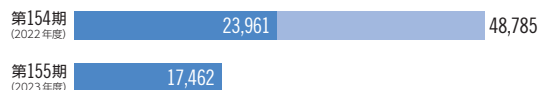
化成品は、二次電池材料が増加したものの、特殊イソシアネートや感熱紙用顔料が減少したことなどにより、減収となりました。

機能材料は、樹脂添加剤「NISSO-PB」やKrFフォトレジスト材料「VPポリマー」が減少したことにより、減収となりました。

エコケア製品は、構造改革の実施により水処理剤「日曹ハイクロン」が減少したものの、重金属固定剤「ハイジオン」が増加したことなどにより、増収となりました。

医薬品・工業用殺菌剤は、医薬品添加剤「NISSO HPC」が堅調に推移しましたが、工業用殺菌剤が減少したことなどにより、前年同期並みとなりました。

売上高 ■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円



アグリビジネス

前上半期において、世界的な海上輸送の混乱や、販売価格の上昇を想定した前倒し出荷が発生した影響により、当上半期の殺虫剤・殺ダニ剤や殺菌剤の輸出向けが減少しました。

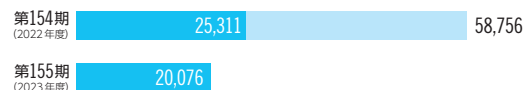
この結果、当上半期の売上高は200億7千6百万円（前年同期比20.7%減）、営業利益は26億1千6百万円（前年同期比38.4%減）となりました。

殺菌剤は「ピシロック」の輸出向けや「ミギワ」が増加したものの、「トップジンM」・「パンチョ」の輸出向けが減少したことなどにより、減収となりました。

殺虫剤・殺ダニ剤は、殺ダニ剤「ダニオーテ」の輸出向けが増加したものの、殺虫剤「モスピラン」・「ロムダン」や殺ダニ剤「ニッソラン」の輸出向けが減少したことなどにより、減収となりました。

除草剤は減収となりました。

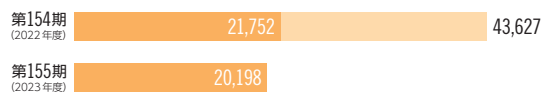
売上高 ■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円



トレーディング&ロジスティクス

各種無機薬品の販売が増加したものの、各種有機薬品・ウレタン原料の販売や、運送業が減少したことなどにより、当上半期の売上高は201億9千8百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は11億1千2百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

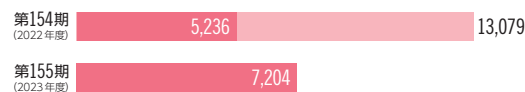
売上高 ■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円



エンジニアリング

プラント建設工事が堅調に推移し、当上半期の売上高は72億4百万円（前年同期比37.6%増）、営業利益は3億5千7百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

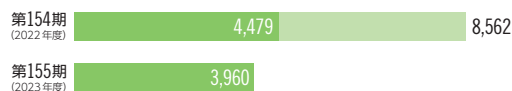
売上高 ■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円



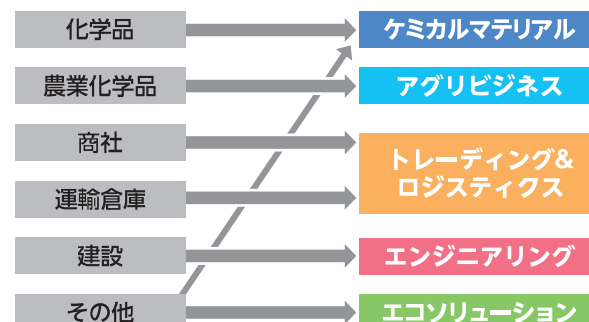
エコソリューション

亜鉛建値下落の影響を受けて非鉄金属事業が減少したことにより、当上半期の売上高は39億6千万円（前年同期比11.6%減）、営業損失は8千8百万円（前年同期は4億3千2百万円の営業利益）となりました。

売上高 ■ 中間期 ■ 通期 単位：百万円



【2024年3月期よりセグメント区分を変更】



- 商社事業と運輸倉庫事業を統合し、その他の一部製品をケミカルマテリアルに移管
- 前年の数値は新セグメント区分に組み替えて算出

ESG指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定

当社は、ESG指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。

同指数は、グローバルインデックスプロバイダーである英FTSE Russellにより作成された、環境・社会・ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスであり、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）のESG投資におけるパッシブ運用ベンチマークとして採用されるなど、重要な投資判断基準として世界中の投資家に活用されています。また、同社のESG指数である「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」におきましても、当社は構成銘柄に選定されています。

当社グループは、化学の力で新たな価値を創造し、「社会への貢献」を通じ「企業価値の向上」を実現することをミッションとして、化学とその関連サービスの提供を通じて持続的な成長を目指すこととしています。これからも、社会が抱える課題を化学の力で解決し、未来を見据えた価値創造を通じて、一人ひとりが安心して暮らすことができる社会づくりに貢献してまいります。



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

ご参考

日本曹達グループの取り組みについて

<https://www.nippon-soda.co.jp/sustainability/>

FTSE Blossom Japan IndexおよびFTSE Blossom Japan Sector Relative Indexについて

<https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan>

本社オフィスの移転

当社は、本社オフィスを2023年11月27日より、JPタワー（東京都千代田区）へ移転いたしました。

この移転では、ワークスタイル変革の一環として、さらに働きやすく効率よくデザインされたオフィス空間に大変容させ、従業員のコミュニケーションを活性化させる機能的なオフィス環境を整備しました。役職員一人ひとりの力をつなぎ創造力と生産性を高め、働きがいと誇りを持てる職場づくりを推進するとともに、新たなイノベーション創出につなげてまいります。



株主様アンケートご協力のお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。（所要時間は5分程度です）

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（QUOカードPay500円）を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 4041



検索窓から いいかぶ

検索



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから

カメラ機能でQRコード読み取り→

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

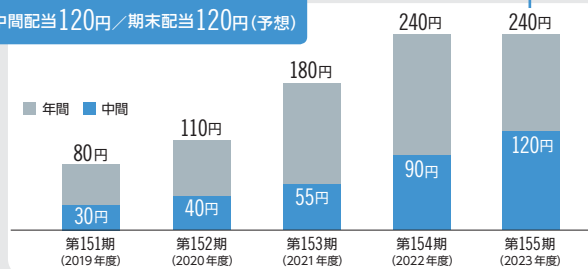
アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

配当について

当社は剰余金の処分に関して、基本的に収益動向を踏まえ、安定配当の維持、株主資本の充実、財務体質の改善等の観点から総合的に判断したいと考えております。内部留保資金は、高付加価値製品開発および競争力強化のための研究開発投資や設備投資、M&A等に充当することとしております。

1株当たり配当金240円を予想
中間配当120円／期末配当120円(予想)



会社概要

(2023年9月30日現在)

会社概要

創 立	1920年2月1日
資 本 金	29,166,694,351円
従 業 員 数	1,339名(嘱託社員・再雇用者を含む)
本 社	東京都千代田区大手町二丁目2番1号
ご 参 考	本社は、2023年11月27日をもって東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 (JPタワー) へ移転いたしました。TEL.03-6366-1920
工 場	二本木工場、高岡工場、水島工場、千葉工場
営 業 所	札幌営業所、仙台営業所、関東営業所、大阪営業所、高岡営業所、福岡営業所
研 究 所	小田原研究所

株式の状況

発行可能株式総数	96,000,000株
発行済株式総数	28,747,667株
株主数	21,191名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,238	11.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,543	5.53
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,247	4.47
三井物産株式会社	1,015	3.64
日本曹達取引先持株会	964	3.46
農林中央金庫	884	3.17
株式会社みずほ銀行	816	2.93
損害保険ジャパン株式会社	513	1.84
株式会社りそな銀行	480	1.72
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	441	1.58

※当社は、自己株式を858,935株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
※持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比



■ 金融機関・証券会社 ■ 外国法人等 ■ その他の国内法人 ■ 個人・その他

※小数点第3位以下を四捨五入しています。
※自己株式は「個人・その他」に含めて記載しております。

グループ会社

連結子会社

●化学
日曹金属化学株式会社
ニッソーファイン株式会社
新富士化成薬株式会社

●商社
日曹商事株式会社
株式会社ニッソーグリーン

●物流
三和倉庫株式会社
三倉運輸株式会社

●エンジニアリング
日曹エンジニアリング株式会社

●土木・建設
株式会社日曹建設

●海外
NISSO AMERICA INC.
NISSO CHEMICAL EUROPE GmbH
日曹南海アグロ株式会社

持分法適用関連会社

NOVUS INTERNATIONAL, INC.
IHARABRAS S/A. INDÚSTRIAS QUÍMICAS

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社

特別口座の管理機関

お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日祝日を除く)
お取扱店	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。

単元株式数	100株
公告方法	電子公告 <URL>https://www.nippon-soda.co.jp/ ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

証券コード 4041